

# 1toSWIM 着衣水泳教室 参加者募集

～もしもの時に備えて～

中日新聞の記事によると小学校で全面実施される新学習指導要領の中に、「安全確保につながる運動」が加わりました。浸水が起きた時、仰向けで水面から顔を出す背浮きや浮いたり沈んだりしながら長く浮けるようになることを目指すというものです。しかし、コロナ禍の中昨年度は小中学校が水泳指導を中止。本年度も水泳の授業を見送る学校が多いようです。その影響でしょうか、減少傾向にあった水難事故は昨年度、全国で616名（うち子供は101名）と例年より多い人数となっています。

去年は1toSWIMでも着衣水泳の練習ができませんでした。

今年の夏は、1toSWIMで着衣水泳を学びもしもの時に備えましょう。

## 体験内容

### 生き残るための合い言葉「ウイテマテ」を体験

- ◇ 濡れた衣服の重みを体験
- ◇ 着衣での水中歩行、入退水
- ◇ サバイバルポディション（安全姿勢）
- ◇ サバイバルスイム（着衣での泳ぎ方）
- ◇ エレメンタリーバックストローク
- ◇ ペットボトルフローティング

第1回 7月22日（海の日） 木曜日

時間 12時20分～13時20分

対象 小学1年～（泳力制限無し）

第2回 7月30日 金曜日

時間 11時～12時

対象 小学1年～（3年生以上は泳力制限無し）

1・2年生は泳力判定項目100(6p)帽子の色イエロー以上

参加費 無料（1人1回）

定員 各30名

担当 一田 幸男（日本赤十字社水上安全法指導員）他

持ち物 水着・キャップ・タオル・靴袋・ビニール袋（濡れた服を入れる）

空のペットボトル（900ml～2l無くてよい）1本・着衣水泳で使う服装

☆1年生～3年生までの子は半袖、半ズボン。4年生以上は長袖、長ズボン可（いずれも汚れがなく洗濯直後のもの、金属・装飾品が付いていなくて引っかからないもの）

申込方法 Eメール、電話、受付にて「会員番号・氏名（フリガナ）・年齢・学年・性別・連絡先番号」をお知らせ下さい（定員になり次第受付終了）

その他 \*保護者の観覧は通常レッスンと同じく15分です（車は第2駐車場へ）

\*練習風景を撮影し、記録、広報、TV、SNS、WEBサイト等へ使用する場合がありますこと、ご了承の上ご参加下さい。

